

優秀賞（朝日新聞社賞） CAP 下関

代表者 宮木 桂子（子育て分野／下関市）

活動の動機・目的

小学校の絵本サークルの母親たちが、CAP（子どもへの暴力防止）の本に出会い、勉強会をスタート。子どもの人権が尊重され、子どもへの暴力のない社会の実現をめざし立ち上げた。

子どもを暴力の被害者にも、加害者にも、傍観者にもしないために、主に、CAP（Child Assault Prevention）プログラムを学校・幼稚園・保育園に届ける。これは、暴力というテーマを楽しく学び、子どもの人権意識を高め、子どもの「自分を守る力」を引き出す教育プログラムのこと。

核家族化、少子高齢化が進み、近隣の付き合いが希薄な現在、子どもやその家族は孤立しやすく、虐待や暴力の問題を個人で抱えてしまいがち。子ども虐待の発生件数を考えると、早期予防対策が必要。親だけでなく地域住民全てに対する予防啓発を出来るだけ早くすることで、大幅に減らすことができる。定期的な親子の集う場所の提供、CAP 公開講座などで、親、先生、地域の人を繋ぎ、孤立を防ぐ。積極的に子どもを支援しようとする人環境を作り、子どもの自尊感情を育む子どもにやさしい地域を目指す。

活動の内容

①学校・幼稚園・保育園での CAP プログラムを実施（2015年度：1 保育園、1 小学校）。

保育園に行く時は、子どもを怖がらせず、楽しく参加体験できるよう歌や人形劇を取り入れる。

②子育て支援事業をスタート。

子育て支援ミニ講座&交流の場“HotなホッとするCAP@カフェ”～もっと！こどもとなかよくなるよ～を主催（託児、それぞれお楽しみタイムあり）。

4日間のテーマは、i 子どもの安心 ii 子どもの心とからだを守る iii 私のイライラどこから？ iv おとなの自信～気持ちを聴く・伝える

③CAP 下関設立15周年記念公開講座開催。

「ネット社会を生きる子どもたち」下関市立小学校校長会研修

④活動メンバー養成。

20代のCAPスペシャリスト誕生。また、シニアの男性スペシャリストが活動に加わり、男性の立場、女性の立場から、非暴力、ジェンダーについての考察が深まっている。

⑤公開講座「障がいのある子どもを支援する為に」～スペシャルニーズプログラム in 山口～開催。

下関市において、CAP スペシャリスト研修。

⑥「希望 丘の上のランチョンコンサートVOL. 2」開催。

⑦例会（月1回）と不定期でワークショップ練習。会報発行（年1～2回）等。

これからめざしたいこと

「子育て支援事業」は、託児予算、参加費設定、スタッフの確保などを長期的に考え、「すべては、子どもの安心・自信・自由に」をモットーに継続したい。子どもの「自分を大切にする心」を支え、子どもの力を信じ、子どもの本当の気持ちを「聴く」ことのできる大人を地域に増やし、いじめや虐待など子どもへの暴力のない社会の実現をめざす。



C
A
P
就学前子ども
ワークショップ
←

C
A
P
@
カ
フェ
2
0
1
5
エ
→

